



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

|                | 直近値       | 前日比    | 変化率 (%) | 週間騰落率 (%) | 年初来騰落率 (%) | 16年末株価    |
|----------------|-----------|--------|---------|-----------|------------|-----------|
| NYダウ           | 20,804.84 | 141.82 | 0.69    | -0.44     | 5.27       | 19,762.60 |
| NASDAQ         | 6,083.70  | 28.57  | 0.47    | -0.61     | 13.01      | 5,383.12  |
| 日経225          | 19,590.76 | 36.90  | 0.19    | -1.47     | 2.49       | 19,114.37 |
| 上海総合           | 3,090.63  | 0.49   | 0.02    | 0.23      | -0.42      | 3,103.64  |
| 滬深300 (CSI300) | 3,403.85  | 5.74   | 0.17    | 0.55      | 2.83       | 3,310.08  |
| ハンセン           | 25,174.87 | 38.35  | 0.15    | 0.07      | 14.43      | 22,000.56 |
| H株             | 10,267.39 | -3.96  | -0.04   | -0.15     | 9.29       | 9,394.87  |

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.1%高と小幅に続伸、上海総合指数は0.2%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.1%高と小幅ながら続伸。週初は本土からの資金流入観測を背景に6日続伸で始まったが、その後はトランプ米大統領の「ロシアゲート」疑惑を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まった。一方で予想を上回る好決算を発表したテンセントが上昇して相場を支えた。本土市場では上海総合指数が週間で0.2%高と6週ぶりに反発。4月の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで景気の先行きに対する警戒感が高まったものの、3100ポイントの節目を挟んでもみ合いが続いた。

### 今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、「ロシアゲート」疑惑が引き続き重しに

香港市場は上値の重い展開か。ハンセン指数が1年10カ月ぶり高値圏にある中、トランプ米大統領を巡る「ロシアゲート」疑惑が引き続き相場の重しとなりそうだ。ハンセン・インデックス社がH株指数構成銘柄の対象拡大を検討していると発表したことで、レッドチップ銘柄や本土系の大規模民営株の買いが見込まれるものの、香港金融当局が再び不動産ローン規制の強化を発表したことはマイナス材料。一方、本土市場は3100ポイントを挟んでもみ合いか。端午節の連休入りで週末にかけては手控えムードが強まる公算。

## 先週のハンセン騰落ランキング

| ▼値上がり                | 直近終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|----------------------|-------------|---------|
| 1 華潤電力控股(00836)      | 15.38       | 6.51    |
| 2 中国中信(00267)        | 12.02       | 4.70    |
| 3 中銀香港(02388)        | 34.30       | 4.57    |
| 4 テンセント(00700)       | 268.40      | 3.95    |
| 5 中国蒙牛乳業(02319)      | 15.36       | 3.92    |
| 6 キャセイ・パシフィック(00293) | 11.32       | 3.85    |
| 7 中国神華能源(01088)      | 18.80       | 2.96    |
| 8 華潤置地(01109)        | 21.25       | 2.66    |
| 9 恒隆地産(00101)        | 19.50       | 1.99    |
| 10 中国海外発展(00688)     | 22.40       | 1.59    |

  

| ▼値下がり             | 直近終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|-------------------|-------------|---------|
| 1 瑞声科技(02018)     | 82.60       | -13.96  |
| 2 香港鐵路(00066)     | 44.85       | -3.86   |
| 3 恒安国際集団(01044)   | 55.45       | -3.31   |
| 4 長江インフラ(01038)   | 66.85       | -2.69   |
| 5 電能実業(00006)     | 69.30       | -2.60   |
| 6 中国旺旺(00151)     | 5.30        | -2.57   |
| 7 長江和記実業(00001)   | 99.60       | -1.97   |
| 8 サンス・チャイナ(01928) | 33.90       | -1.74   |
| 9 HSBC(00005)     | 67.00       | -1.62   |
| 10 新鴻基地産(00016)   | 114.40      | -1.38   |

## ▼今週の主なイベント

- 5月25日(木) 【香港】貿易統計(4月)
- 5月26日(金) 【米国】GDP改定値(1-3月)
- 5月27日(土) 【中国】工業企業利益(4月)

## ▼今週の期待材料

- ◆ハンセン・インデックス社がH株指数構成銘柄の対象拡大を検討、レッドチップや中国民営株も対象に
- ◆香港市場への資金流入期待が継続、先週の本土からの資金流入額は145億HKドルに
- ◆先週の公開市場操作で中国人民銀行が1600億円の資金供給、5月は月初来で500億円の供給超過に

## ▼今週の懸念材料

- ◆トランプ大統領を巡る「ロシアゲート」疑惑深まる、新たな材料が出てくればリスク回避姿勢強まる可能性も
- ◆香港金融当局がローンの引き締め措置を発表、2軒目以降の住宅購入や非居住者に対する基準を強化
- ◆北朝鮮が21日に再び弾道ミサイルを発射、G7サミット開催期間中にさらなる挑発の可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : H株指数構成銘柄の対象拡大で組み入れの可能性が浮上
- ☆ レノボグループ (00992) : 25日に3月本決算を発表、市場予想は黒字転換の見通し
- ☆ 石薬集団 (01093) : 25日に1-3月期決算を発表、市場予想は30%増益
- ☆ 中聯重科 (01157) : 環境関連子会社の権益80%を売却、売却益は91億元の見通し
- ☆ キングソフト (03888) : 23日に1-3月期決算を発表、市場予想は87%増益
- ◇ 雲遊控股 (00484) : 17年6月中間決算は赤字継続の見通し、赤字額は大幅縮小へ
- ★ 万洲国際 (00288) : 大株主のPEファンドが最大6.6%の株式売却を計画
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 4月の4G加入純増数は503万件、前月比24%減
- ★ 中国工商銀行 (01398) : 大株主のテマセクが6億株を売却、発行済み株式の0.2%
- ★ 富智康集団 (02038) : 17年6月中間決算の見通しを下方修正、2.4億米ドルの赤字

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手した資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。